

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	レポート
2	5月28日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	レポート
3	6月4日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
4	6月11日	講義・演習	週報記載/面談スケジュール/ 青本で学校を理解する/	ワークシート提出
5	6月18日	講義・演習	週報記載/現場参加の心構えをする/便覧	ワークシート提出
6	6月25日	講義・演習	週報記載/メールの書き方 送り方 与える印象を理解する	ワークシート提出
7	7月2日	講義・演習	週報記載/電話の取り方/かけ方 与える印象を理解する	ワークシート提出
8	7月9日	講義・演習	週報記載/プロ意識とは何か。 自己評価点検を行う/生活習慣の見直し	ワークシート提出
9	7月16日	講義・演習	週報記載 グループワークにてコミュニケーションを学ぶ	ワークシート提出
10	7月30日	講義・演習	週報記載 音楽業界への基礎知識を理解する	ワークシート提出
11	8月20日	講義・演習	週報記載 就職活動における企業を調べるツールを理解する	ワークシート提出
12	8月27日	講義・演習	週報記載 就職活動の方法を理解する	ワークシート提出
13	9月3日	講義・演習	週報記載 ミッションステートメントを書く	ワークシート提出
14	9月10日	講義・演習	週報記載 履歴書の書き方講座 事例検討をする	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	週報記載/履歴書の書き方を理解する	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントは1つ1つ個性のあるものであるが、自身にとって新たな局面に直面した時に「わからない」ではなく「こうしたらいい」と自身で解決案を考えられるように、イベント制作業の基本的な知識を講義する						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	レポート
2	10月15日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート
3	10月22日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	ワークシート
4	11月5日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	ワークシート
5	11月12日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	ワークシート
6	11月19日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート
7	11月26日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート
8	12月3日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート
9	12月10日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート
10	12月17日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート
11	1月7日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート
12	1月14日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート
13	1月21日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート
14	1月28日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/ 2年生の目標設定	レポート
15	2月11日	講義・演習	1年間の振り返り、2年へ向けて	レポート
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	レポート
2	5月29日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	レポート
3	6月5日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
4	6月12日	講義・演習	週報記載/1年間の目標設定	ワークシート提出
5	6月19日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
6	6月26日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
7	7月3日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
8	7月10日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
9	7月31日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付 ける	ワークシート提出
10	8月21日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付 ける	ワークシート提出
11	8月28日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付 ける	ワークシート提出
12	9月4日	講義・演習	週報記載 自分自身の理解	ワークシート提出
13	9月11日	講義・演習	週報記載 就職活動確認/リクエスト授業	ワークシート提出
14	9月18日	講義・演習	週報記載/ リクエスト授業	ワークシート提出
15	9月25日	講義・演習	週報記載/音楽業界について調べる	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かっているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントは1つ1つ個性のあるものであるが、自身にとって新たな局面に直面した時に「わからない」ではなく「こうしたらいい」と自身で解決案を考えられるように、イベント制作業の基本的な知識を講義する						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	レポート
2	10月16日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート
3	10月23日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	ワークシート
4	11月6日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	ワークシート
5	11月13日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	ワークシート
6	11月20日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート
7	11月27日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート
8	12月4日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート
9	12月11日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート
10	12月18日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート
11	1月8日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート
12	1月15日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート
13	1月22日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認	レポート
15	2月12日	講義・演習	3年生に向けて	レポート
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(5)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	レポート
2	5月29日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	レポート
3	6月5日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
4	6月12日	講義・演習	週報記載/1年間の目標設定	ワークシート提出
5	6月19日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/2年生の復習	ワークシート提出
6	6月26日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/2年生の復習	ワークシート提出
7	7月3日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/2年生の復習	ワークシート提出
8	7月10日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/2年生の復習	ワークシート提出
9	7月31日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
10	8月21日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
11	8月28日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
12	9月4日	講義・演習	週報記載 自分自身の理解	ワークシート提出
13	9月11日	講義・演習	週報記載 就職活動確認/リクエスト授業	ワークシート提出
14	9月18日	講義・演習	週報記載/ リクエスト授業	ワークシート提出
15	9月25日	講義・演習	週報記載/音楽業界について調べる	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かっているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(6)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントは1つ1つ個性のあるものであるが、自身にとって新たな局面に直面した時に「わからない」ではなく「こうしたらいい」と自身で解決案を考えられるように、イベント制作業の基本的な知識を講義する						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	レポート
2	10月16日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート
3	10月23日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	ワークシート
4	11月6日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	ワークシート
5	11月13日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	ワークシート
6	11月20日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート
7	11月27日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート
8	12月4日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート
9	12月11日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート
10	12月18日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート
11	1月8日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート
12	1月15日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート
13	1月22日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認	レポート
15	2月12日	講義・演習	4年生へ向けて	レポート
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DJ Play Tech(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	DJ機材についての基本的な操作方法・練習方法およびDJとして求められる基礎テクニックを学習する						
到達目標	DJ機材を使用したステージ演奏のスキル(スクラッチ、曲のつなぎ等)を身に着ける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	機材について知る 基礎① 各部名称・機能について	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
2	5月29日	講義・演習	機材について知る 基礎② 操作方法について	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
3	6月5日	講義・演習	楽曲について学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
4	6月12日	講義・演習	機材を使った実習 基礎① 曲のプレイ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
5	6月19日	講義・演習	機材を使った実習 基礎② 曲の切り替え	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
6	6月26日	講義・演習	曲をつなぐポイントについて①-1 基本概念について	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
7	7月3日	講義・演習	曲をつなぐポイントについて①-2 基本に沿った実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
8	7月10日	講義・演習	曲をつなぐポイントについて②-1 応用テクニックについて	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
9	7月17日	講義・演習	曲をつなぐポイントについて②-2 応用テクニックを用いた実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
10	7月31日	講義・演習	スローテンポの曲のつなぎ方について 説明と実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
11	8月7日	講義・演習	ミドルテンポの曲のつなぎ方について 説明と実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
12	8月21日	講義・演習	アップテンポの曲のつなぎ方について 説明と実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
13	8月28日	講義・演習	前期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	前期内容について復習
14	9月4日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
15	9月11日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				

科目名	DJ Play Tech(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	DJ機材についての基本的な操作方法・練習方法およびDJとして求められる基礎テクニックを学習する						
到達目標	DJ機材を使用したステージ演奏のスキル(スクラッチ、曲のつなぎ等)を身に着ける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	前期復習	自己練習・復習
2	10月16日	講義・演習	好みのジャンルを決める	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
3	11月6日	講義・演習	カットインを使用したテクニックについて学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
4	11月13日	講義・演習	カットインを使用して演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
5	11月20日	講義・演習	ループ機能を使用したテクニックについて学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
6	11月27日	講義・演習	ループ機能を使用して演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
7	12月4日	講義・演習	Low Pass フィルターを使用したテクニックについて学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
8	12月11日	講義・演習	Low Pass フィルターを使用して演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
9	12月18日	講義・演習	曲をつなぐポイントについて②-2 応用テクニックを用いた	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
10	1月8日	講義・演習	Reverb を使用して演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
11	1月15日	講義・演習	HOT CUE を使用したテクニックについて学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
12	1月22日	講義・演習	HOT CUE を使用して演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
13	1月29日	講義・演習	前期・後期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	前期内容について復習
14	2月12日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
15	2月19日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				

科目名	DJ Music Creation(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ライブでの演奏を想定して、観客を楽しませるために最も重要である『楽曲選曲』のポイントや『つなぎ方』について、DJの歴史的背景を交えて学習する。						
到達目標	現場毎に求めらせる『楽曲』を選曲し、適切な『つなぎ方』を判断できるスキルを身に着ける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	DJのプレイスタイルの変化について学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
2	5月29日	講義・演習	DJ機材の変化について学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
3	6月5日	講義・演習	『DJ』に適した楽曲について学習する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
4	6月12日	講義・演習	『DJ』に特化された楽曲アレンジについて学習する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
5	6月19日	講義・演習	既存楽曲を『DJ』に特化するためアレンジを考察する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
6	6月26日	講義・演習	スクラッチについて基本概念を学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
7	7月3日	講義・演習	スクラッチを使用して基本に沿って演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
8	7月10日	講義・演習	スクラッチについて応用手法を学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
9	7月17日	講義・演習	スクラッチの応用手法を用いて演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
10	7月31日	講義・演習	Mixの基本について学習する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
11	8月7日	講義・演習	MixCDを聴いて『楽曲』を分析する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
12	8月21日	講義・演習	MixCDを聴いて『つなぎ』を分析する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
13	8月28日	講義・演習	前期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
14	9月4日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
15	9月11日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				

科目名	DJ Music Creation(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ライブでの演奏を想定して、観客を楽しませるために最も重要である『楽曲選曲』のポイントや『つなぎ方』について、DJの歴史的背景を交えて学習する。						
到達目標	現場毎に求めらせる『楽曲』を選定し、適切な『つなぎ方』を判断できるスキルを身に着ける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	前期復習	自己練習・復習
2	10月16日	講義・演習	レコードプールから好みの曲を選曲する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
3	11月6日	講義・演習	選曲した楽曲でプレイする① 基本に沿った実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
4	11月13日	講義・演習	選曲した楽曲でプレイする② 応用テクニックを用いた実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
5	11月20日	講義・演習	rekordboxの基本概念について	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
6	11月27日	講義・演習	rekordboxとDJ機材のシンクについて学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
7	12月4日	講義・演習	rekordboxとDJ機材を使用してプレイする	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
8	12月11日	講義・演習	テンポ違う楽曲のつなぎ方について 基本概念	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
9	12月18日	講義・演習	テンポ違う楽曲のつなぎ方について 実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
10	1月8日	講義・演習	自分の演奏を録音する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
11	1月15日	講義・演習	自分の演奏をプレイバックして改善点を探す	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
12	1月22日	講義・演習	前回の改善を踏まえて自分の演奏を録音する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
13	1月29日	講義・演習	前期・後期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
14	2月12日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
15	2月19日	講義・演習	イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				

科目名	AT-Protocols(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	足立優
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	DAWを使用したオーディオ編集技術は現代ミュージシャンにとって欠かせない技術の一つである。よって、一人一台のPCを使用し、各授業ごとにテーマに沿った課題を作成し、基本的な操作方法や各種機能の使用方法など、確実に身に付けられるよう授業を展開する。						
到達目標	Protocolsの基本的な操作方法を理解し、オーディオの編集作業を行える能力を身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	スタートアップガイド 目的と概要説明・macの基礎	講義で作成したものを各自で作成
2	5月27日	講義・演習	DAWとは(各種概要解説)	講義で作成したものを各自で作成
3	6月3日	講義・演習	DAW立ち上げ・セッション作成・ 各種ウィンドウの説明	講義で作成したものを各自で作成
4	6月10日	講義・演習	オーディオインポート・クリップトラックの 作成・ショートカットキーの説明	講義で作成したものを各自で作成
5	6月17日	講義・演習	オーディオの編集 (波形分割・コピー&ペースト・マーカー他)	講義で作成したものを各自で作成
6	6月24日	講義・演習	楽曲の分割・サイズ変更・書き出し	作成したデータの整理・復習
7	7月1日	講義・演習	オーディオの編集 (フェード・トリミング・サイズ変更)	講義で作成したものを各自で作成
8	7月8日	講義・演習	オーディオの編集 (カットアップ)	講義で作成したものを各自で作成
9	7月15日	講義・演習	複数トラックインポート (各種レベル、PAN調整)	講義で作成したものを各自で作成
10	7月22日	講義・演習	オートメーション作成 (ボリューム・PAN・ミュート他)	講義で作成したものを各自で作成
11	7月29日	講義・演習	オートメーション作成 (touch、latch、writeでの作成)	講義で作成したものを各自で作成
12	8月5日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (タクトランジェント他)	講義で作成したものを各自で作成
13	8月19日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (初級楽曲)	講義で作成したものを各自で作成
14	8月26日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (上級楽曲)	講義で作成したものを各自で作成
15	9月2日	講義・演習	実技・筆記試験	試験の準備としてProtocolsの操作を 授業外で練習する
準備学習 時間外学習			Protocolsの操作を授業外でも行い、練習する(1日30分程度)ことを準備学習・時間外学習とする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				

科目名	AT-Protocols(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	足立優
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	前期で身につけたスキルを実践し、自身の音源政策を自身で行える知識を身につけられるよう授業を展開する。						
到達目標	各自、自宅システムの構築を想定する場合に必要な機材を知り、自らの演奏データの編集、書き出し等を行える知識を有することを目的とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	自宅システムの構築方法 (インターフェース・マイク・ケーブル等について)	各自必要なものを考える
2	10月14日	講義・演習	自宅システムの構築方法とレコーディングについて	各自必要なものを考える
3	10月21日	講義・演習	エフェクト解説 (イコライザー)	講義で作成したものを各自で作成
4	11月11日	講義・演習	エフェクト実践 (イコライザーについての応用)	講義で作成したものを各自で作成
5	11月18日	講義・演習	エフェクト解説 (コンプレッサー)	講義で作成したものを各自で作成
6	11月25日	講義・演習	エフェクト実践 (コンプレッサーについての応用)	講義で作成したものを各自で作成
7	12月2日	講義・演習	オーディオの録音	講義で作成したものを各自で作成
8	12月9日	講義・演習	オーディオ編集 (クロスフェード・メドレー作成)	講義で作成したものを各自で作成
9	12月16日	講義・演習	オーディオ編集 (クオンタイズ・ストリップサイレンス)	講義で作成したものを各自で作成
10	1月6日	講義・演習	オーディオ編集 (テンポ変更・トランスポーズ)	講義で作成したものを各自で作成
11	1月13日	講義・演習	実践的な機能の解説・実践 (プリロール・ポストロール他)	講義で作成したものを各自で作成
12	1月20日	講義・演習	実践的な機能の解説・実践 (各種環境設定等)	講義で作成したものを各自で作成
13	1月27日	講義・演習	前期の復習・課題作成	作成したデータの整理
14	2月10日	講義・演習	後期の復習・課題作成	作成したデータの整理
15	2月17日	講義・演習	実技・筆記試験	試験準備としてprotocolsの操作を 授業外で練習
準備学習 時間外学習			Protocolsの操作を授業外でも行い、練習する(1日30分程度)ことを準備学習・時間外学習とする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽史(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義では西洋音楽の歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義では西洋音楽の歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	アメリカの現代史と音楽ジャンルの説明ができる。	グレゴリアンチャント、チャーチモード、記譜法の復習レポート
2	5月25日	講義・演習	スコット・ジョプリン(1868-1917)の説明ができる。	中世の西洋音楽の復習レポート
3	6月1日	講義・演習	デューク・エリントン(1899-1974)の解説ができる。	ルネッサンス期の西洋音楽の復習レポート
4	6月8日	講義・演習	ルイ・アームストロング(1901-1971)“ジャズ”について説明できる。	ルネッサンス期の西洋音楽の復習レポート
5	6月15日	講義・演習	17世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	17世紀の西洋音楽の復習レポート
6	6月22日	講義・演習	17世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	17世紀の西洋音楽の復習レポート
7	6月29日	講義・演習	18世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	18世紀の西洋音楽の復習レポート
8	7月6日	講義・演習	18世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	18世紀の西洋音楽の復習レポート
9	7月13日	講義・演習	中間確認テスト	1~8回までの復習総括レポート
10	7月20日	講義・演習	19世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家の説明をすることができる。	19世紀の西洋音楽の復習レポート
11	7月27日	講義・演習	19世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家②の説明をすることができる。	19世紀の西洋音楽の復習レポート
12	8月3日	講義・演習	20世紀以降の西洋音楽の概要、技法、作曲家①の説明をすることができる。	20世紀の西洋音楽の復習レポート
13	8月17日	講義・演習	20世紀以降の西洋音楽の概要、技法、作曲家②の説明をすることができる。	20世紀の西洋音楽の復習レポート
14	8月24日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の説明の説明をすることができる。	1~14回までの復習総括レポート
15	8月31日	講義・演習	学期末試験及び、学期末課題の発表・提出。	総復習総括レポート
準備学習 時間外学習		西洋音楽について各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	音楽史(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していくためには、深く歴史を知る必要がある。本講義ではロック&ポップスの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していくためには、深く歴史を知る必要がある。本講義ではロック&ポップスの歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	アメリカの現代史を説明できる。	アメリカの現代史と音楽ジャンルの復習レポートをまとめる。
2	10月12日	講義・演習	ロックミュージックのルーツを解説できる。	ロックミュージックの復習レポートをまとめる。
3	10月19日	講義・演習	ロックンロールの誕生について解説できる。	ロックンロールの復習レポートをまとめる。
4	11月9日	講義・演習	フォークミュージックの誕生とムーヴメントについて解説できる。	フォークミュージックの復習レポートをまとめる。
5	11月16日	講義・演習	ブリティッシュミュージックについて説明できる。	ブリティッシュ音楽の復習レポートをまとめる。
6	11月23日	講義・演習	The Beatlesについて説明できる。	ビートルズについて復習レポートをまとめる。
7	11月30日	講義・演習	モータウンレーベルの誕生について説明できる。	モータウンレーベルについての復習復習レポートをまとめる。
8	12月7日	講義・演習	中間確認テスト	1~7回の復習
9	12月14日	講義・演習	1960年代のアメリカ、フラワームーヴメントについて説明できる。	1960年代の音楽の研究復習レポートをまとめる。
10	12月21日	講義・演習	ハードロック、グラムロックについて説明できる。	グラムロックの研究復習レポートをまとめる。
11	1月18日	講義・演習	ハードロックのポピュラー化について説明できる。	ハードロックの復習レポートをまとめる。
12	1月25日	講義・演習	パンクミュージックについて説明できる。	パンク音楽の復習レポートにおこす。
13	2月1日	講義・演習	MTVについて 80年代について説明できる。	MTV80年代の研究復習レポートにおこす。
14	2月8日	講義・演習	ハウスミュージックについてについて説明できる。	ハウスミュージックの復習レポートにおこす。
15	2月15日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の発表・提出	1~14回の復習レポートにおこす。
準備学習 時間外学習			ロック&ポップスについて各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	Music Theory(1) ContemporaryMusicTheory(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮地遼
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記の方法について講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	現代において音楽に関わる仕事に就くために必須となるボキャブラリー、記号、表記方法を学び作業現場で円滑なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	音とは・鍵盤・音名・変化記号・五線・音部記号・譜表	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	5月26日	講義・演習	音符・休符・拍子・拍子記号	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	6月2日	講義・演習	曲の進行に関する記号等・略記法・速さや強さに関する記号・奏法に関する記号	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	6月9日	講義・演習	メジャー スケールと全音・半音	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	6月16日	講義・演習	マイナー スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	6月23日	講義・演習	五度圏・調号・調関係	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	6月30日	講義・演習	インターバルの度数と名称	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	7月7日	講義・演習	転回・単音程・複音程・協和音程と不協和音程	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	7月14日	講義・演習	コードの定義・コード シンボル	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	7月21日	講義・演習	トライアドとその転回形	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	7月28日	講義・演習	セブンスコードとその転回形	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	8月4日	講義・演習	シックスコード・サスフォー コード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	8月18日	講義・演習	ナチュラル テンションとその意味	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	8月25日	講義・演習	レビュー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
15	9月1日	講義・演習	学期末試験	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	Music Theory(1) Music Theory(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野安 斎藤恵子 山崎未真 鈴木未夏	科目名		必修 選択		年次		担当教員	
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)			学科・コース		授業 形態		総時間 (単位)			
教員の略歴		授業の学習内容				音楽業界でステップアップしていくためには、楽曲の分析やオリジナル作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。		教員の略歴		授業の学習内容					
到達目標		到達目標				楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル作曲や楽曲アレンジができるようになる。		到達目標		到達目標					
評価方法及び基準		評価方法及び基準				筆記又は、実技テストによる採点		評価方法及び基準		評価方法及び基準					

授業計画・内容					授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	五線譜の各部名称とクレフ、音名を復習する	16	7月10日	講義・演習	中間テスト	前回までの内容の復習
2	5月27日	講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名と鍵盤の位置が一致出来るように復習する	17	7月15日	講義・演習	奏法	省略記号、奏法記号、裝飾記号を復習する
3	5月29日	講義・演習	音名、音符、休符	音名、音符、休符の表し方と連符を復習する	18	7月17日	講義・演習	近親調	それぞれの調の関係性を理解し復習する
4	6月3日	講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方と連符を復習する	19	7月22日	講義・演習	移調	五線をを用いて移調が出来るようになる
5	6月5日	講義・演習	拍子、複合拍子	小節線、単純拍子、複合・混合拍子、タイについて復習する	20	7月29日	講義・演習	トライアド	コードの概念とトライアドの構造を理解し復習し実際に弾いてみる
6	6月10日	講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の区別、臨時記号の効力を学び正しい楽譜が書けるようにする	21	7月31日	講義・演習	7thコード	トライアドの知識を踏まえ、7thコードに発展させることが出来るようにし、実際に弾いてみる
7	6月12日	講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるようにする	22	8月5日	講義・演習	7thコードの復習とdim7	トライアド、7thコード、dimコードの構造を復習し実際に弾いてみる
8	6月17日	講義・演習	音程	音程(度数の教え方、全音と半音)を復習する	23	8月7日	講義・演習	転回形	転回形の表記方法を復習し、G-clefでの簡単なヴォイシングが出来るようにする
9	6月19日	講義・演習	音程	音程(2.3.6.7度、#とbあり)を復習する	24	8月19日	講義・演習	その他のコード	add9、sus4、6thコードを復習し実際に弾いてみる
10	6月24日	講義・演習	音程	音程(1.4.5.8度、#とbあり)を復習する	25	8月21日	講義・演習	テンション	9th、11th、13thのテンションコードを復習し実際に弾いてみる
11	6月26日	講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを復習し、実際に歌ったり楽器で弾いてみる	26	8月14日	講義・演習	まとめ	今まで習ったコードの内容を復習し、理解度を高める
12	7月1日	講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる	27	8月28日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	7月3日	講義・演習	マイナースケール	調号を用いてナチュラルマイナースケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる	28	9月2日	講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	7月8日	講義・演習	マイナースケール	ハーモニックマイナー、メロディックマイナースケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる	29	9月4日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習
15	7月15日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める	30	9月11日	講義・演習	テスト返却、総復習	楽譜を見て、keyや雰囲気などをつかみ、表現できるようにする
準備学習 時間外学習					準備学習 時間外学習				
前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える					前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える				
【使用教科書・教材・参考書】					【使用教科書・教材・参考書】				
「ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)					「ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)				

科目名	Music Theory(2) ContemporaryMusicTheory(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮地遼
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記の方法について講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	ContemporaryMusicTheory(1)で学んだ基本的な知識から踏み込んで、演奏者や制作者になるため、また彼らと密なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	メジャー ダイアトニックコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	10月13日	講義・演習	ダイアトニックコードプログレッション・ケーデンス	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	10月20日	講義・演習	ダイアトニックコードのコード スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	11月10日	講義・演習	プライマリードミナント・セカンダリードミナント	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	11月17日	講義・演習	セカンダリードミナントのコード スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	11月24日	講義・演習	ディセプティブ リゾリューション	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	12月1日	講義・演習	ツー ファイブ・リレイティッドツーファイブとそのスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	12月8日	講義・演習	ハーモニックリズム	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	12月15日	講義・演習	エクステンディドミナント	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	12月22日	講義・演習	インターポレイティッド コード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	1月12日	講義・演習	ナチュラル マイナー スケールのダイアトニックコードとその機能	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	1月19日	講義・演習	ハーモニックマイナー・メロディックマイナーのダイアトニックコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	1月26日	講義・演習	マイナー ダイアトニックコードのコード スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	2月9日	講義・演習	レビュー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
15	2月16日	講義・演習	学期末試験	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	Music Theory(2) Music Theory(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野安 斎藤恵子 山崎未貴 鈴木未夏	科目名		必修 選択		年次		担当教員	
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)			学科・コース		授業 形態		総時間 (単位)			
教員の略歴							教員の略歴								
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていくためには、楽曲の分析やオリジナル作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。						授業の学習 内容								
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル作曲や楽曲アレンジができるようになる。						到達目標								
評価方法及び基準	筆記又は、実技テストによる採点						評価方法及び基準								

授業計画・内容					授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	前期の復習	MT I & II の内容を復習し、理解度を高めるようにする	16	12月11日	講義・演習	代理コード(裏コードを含むダイアトニック外の代理コード)	メイジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードとダイアトニック外の代理コードを使ってアレンジしてみる
2	10月9日	講義・演習	メイジャーダイアトニックコード	ダイアトニックコードのコードネーム、ディグリーネームを復習し、実際に弾いてみる	17	12月16日	講義・演習	借用和音	マイナーキーからの借用和音を入れたコード進行を作ってみる
3	10月14日	講義・演習	メイジャーダイアトニックコードの機能	各機能の意味を理解し、主要和音(スリーコード)と代理和音を復習する	18	12月18日	講義・演習	転調	転調のパターンを知り、実践する
4	10月16日	講義・演習	ドミナントモーション	ドミナントモーションを復習し、響きを聴いて曲中で感じられるようにする	19	1月6日	講義・演習	アナライズ	楽譜と音源から楽曲分析をしてみる
5	10月21日	講義・演習	マイナーダイアトニックコード	ダイアトニックコードの仕組み(ナチュラルマイナー)を五線譜に書けるようにし、弾いてみる	20	1月8日	講義・演習	ヴォーシング	ケーデンスを実際に5線に書けるようにする(保留をしながら)
6	11月6日	講義・演習	マイナーダイアトニックコード	マイナーダイアトニックコードの仕組みを五線譜に書けるようにし、弾いてみる	21	1月13日	講義・演習	アベイラブルノートスケール(メイジャー)	コードスケールを使ってフレーズを作ってみる
7	11月11日	講義・演習	マイナーダイアトニックコードの機能	マイナーコードが持つ機能を理解し復習する	22	1月15日	講義・演習	アベイラブルノートスケール(マイナー)	コードスケールを使ってフレーズを作ってみる
8	11月13日	講義・演習	復習	前回までの復習をし、理解度を高める	23	1月20日	講義・演習	ドミナントスケール	V7に選んだスケールを使ってフレーズを作ってみる
9	11月18日	講義・演習	ケーデンス	終止形、ドミナントモーション、トゥーフアイト、偽終止について復習する	24	1月22日	講義・演習	コードに選んだスケール	それぞれのコードに適したスケールを使ってフレーズを作ってみる
10	11月20日	講義・演習	ケーデンス	セカンダリドミナントについて理解し復習する	25	1月27日	講義・演習	その他のスケール	前回までに学んだスケール以外のスケールを使ってアレンジしてみる
11	11月25日	講義・演習	代理コード(裏コード)	V7の代理コードを理解し、V7と代理コードを弾き比べてみる	26	1月29日	講義・演習	まとめ	復習をし、理解度を高める
12	11月27日	講義・演習	定番コードパターン	コードパターンを使って曲を作ってみる	27	2月10日	講義・演習	スコアリーディング	今までの内容を復習し理解度を高める 期末テストに備える
13	12月2日	講義・演習	クリシェ	クリシェの手法を使ってアレンジしてみる	28	2月12日	講義・演習	期末予備テスト	復習、テスト対策をし期末テストに備える
14	12月4日	講義・演習	パッシングコード	パッシングの手法を使ってアレンジしてみる	29	2月17日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習
15	12月9日	講義・演習	中間テスト	前回までの内容の復習	30	2月19日	講義・演習	テスト返却と総復習	実際に楽譜を読み、自分なりに分析し、表現に繋げる応用力を身に付ける。
準備学習 時間外学習					準備学習 時間外学習				
前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える					前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える				
【使用教科書・教材・参考書】 「ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)					【使用教科書・教材・参考書】 「ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)				

科目名	Global Communication(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	paul searle
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2	5月25日	講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3	6月3日	講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4	6月8日	講義・演習	相手に意見を聞く事、伝える事が出来るようになる 誘いに返答する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5	6月15日	講義・演習	相手について褒める事が出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6	6月22日	講義・演習	時間について尋ねる事、伝達する事が出来るようになる 日常生活について尋ね、説明する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7	6月29日	講義・演習	継続して質問する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit14
8	7月8日	講義・演習	場所について質問、説明する事、道案内ができるようになる。 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 19&20
9	7月13日	講義・演習	頻度について質問、説明することが出来るようになる 値段について質問、説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21&23
10	7月20日	講義・演習	食べ物について質問、食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11	7月27日	講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 29&30
12	8月3日	講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13	8月17日	講義・演習	復習	復習オンラインプラクティス
14	8月24日	講義・演習	定期試験	定期試験の復習
15	8月31日	講義・演習	振り返り	前回までの内容の確認
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				

科目名	Global Communication(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	paul searle
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2	10月12日	講義・演習	個人の情報を聞きだす事が出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3	10月19日	講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返す事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4	11月4日	講義・演習	相手に意見を聞く、伝える事が出来るようになる 誘いに返答する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5	11月16日	講義・演習	相手について褒める事が出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6	11月23日	講義・演習	時間について尋ねる、伝達する事が出来るようになる 日常生活について尋ね、説明する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7	11月30日	講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 14
8	12月7日	講義・演習	場所について質問、説明、道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 19 & 20
9	12月14日	講義・演習	頻度について質問、説明する事が出来るようになる 値段について質問、説明する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21 & 23
10	12月21日	講義・演習	食べ物について質問、説明する事が出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11	1月18日	講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 29 & 30
12	1月25日	講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13	2月1日	講義・演習	復習	復習オンラインプラクティス
14	2月8日	講義・演習	定期試験	定期試験の復習
15	2月15日	講義・演習	振り返り	前回までの内容の確認
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				

科目名	Ear Training (1) Ear Training A (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田村野安 斎藤恵子 山崎未貴 鈴木未夏
	学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていくためには、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようになる。					
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。					
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	音の歴史、モールス信号、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする
2	5月27日	講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち 3拍子と4拍子のビート感覚を養う 2線紙を使って音の高低判定 2度音程を歌い音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3	6月3日	講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4	6月10日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り 音程(全音と半音の区別)	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5	6月17日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱 音程(1.2.3.8度、# ♭なし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6	6月24日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱ができる 音程(1.2.3.8度、# ♭あり)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7	7月1日	講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	7月8日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(4.5度# ♭なし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9	7月15日	講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(1～5度8度、# ♭あり) トライトーン	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10	7月22日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1～5度、8、6度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11	7月29日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1～8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12	8月5日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major/minorのコード判定 音程(1～8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13	8月19日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14	8月26日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習
15	9月2日	講義・演習	テスト返却、総復習	前回までの内容の復習
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ear Training (1) Ear Training B (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野安 斎藤恵子 山崎未貴 鈴木未夏	科目名		必修 選択		年次		担当教員	
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)			学科・コース		授業 形態		総時間 (単位)			
教員の略歴								教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていくには、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。							授業の学習 内容							
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。							到達目標							
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点							評価方法と基準							

授業計画・内容					授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	音の歴史、モルシ番号、調法歌、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする	16	7月10日	講義・演習	E11で習ったリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajorのメロディー書き取り、Major/Minorのコード付き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
2	5月22日	講義・演習	1分音符、4分音符のリズム打ち 3拍子リズムのE11-1聴覚をう 2線紙を使って音の高低判定 2度音程を聞き音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する	17	7月15日	講義・演習	3連符のリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajor/Minorのメロディー書き取り、コードの聞き分け(C.G.F)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
3	5月27日	講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する	18	7月17日	講義・演習	リズム打ち、コード付き(C.G.F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
4	5月29日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する	19	7月22日	講義・演習	リズム打ち、コード付き(C.G.F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
5	6月3日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	20	7月29日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
6	6月5日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	21	7月31日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
7	6月10日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次の授業に備える	22	8月5日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次の授業に備える
8	6月12日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	23	8月7日	講義・演習	6/8拍子・タイの付いたリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
9	6月17日	講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	24	8月19日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
10	6月19日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	25	8月21日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
11	6月24日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	26	8月14日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き(C.G.F)メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
12	6月26日	講義・演習	1分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major/minorのコード判定	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	27	8月28日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き(C.G.F)メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
13	7月1日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	28	9月2日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
14	7月3日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習	29	9月4日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習
15	7月8日	講義・演習	テスト返却、総復習	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する	30	9月11日	講義・演習	テスト返却、総復習	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
準備学習 時間外学習	前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える				準備学習 時間外学習	前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える			
【使用教科書・教材・参考書】	東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校				【使用教科書・教材・参考書】	「イヤートレーニング」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部(発売) 東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校			

東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校

東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校

科目名	Ear Training (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野安 斎藤恵子 山崎未貴 鈴木未夏
	Ear Training A (2)						
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていくためには、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようになる。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	ET I で習ったリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajorのメロディー書き取り、Major/Minorのコード聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
2	10月16日	講義・演習	3連符のリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajor/Cminorのメロディー書き取り、コードの聴き分け (C,G,F)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
3	10月23日	講義・演習	リズム打ち、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
4	11月13日	講義・演習	リズム打ち、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
5	11月20日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
6	11月27日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
7	12月4日	講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	12月11日	講義・演習	6/8拍子・タイの付いたリズム打ち、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、ベース (F-clef) のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
9	12月18日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、ベース (F-clef) のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
10	1月8日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、ベース (F-clef) のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
11	1月15日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
12	1月22日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き (C,G,F) メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
13	1月29日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
14	2月5日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習
15	2月12日	講義・演習	テスト返却、総復習	前回までの内容の復習
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ear Training(2) Ear Training B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野安 斎藤恵子 山崎未実 鈴木未夏	科目名		必修 選択	選択	年次		担当教員	
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)			学科・コース		授業 形態		総時間 (単位)			
教員の略歴							教員の略歴								
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていくには、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。						授業の学習 内容								
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。						到達目標								
評価方法及び基準	筆記又は、実技テストによる採点						評価方法及び基準								

授業計画・内容					授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	音の歴史、モールズ番号、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に印ける ようにする	16	12月11日	講義・演習	E11で書かれたリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、 CMajorのメロディー書き取り、Major/Minorのコード読み分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
2	10月9日	講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち 3拍子と4拍子のビート感覚を養う 2線紙を 使って音の高低判定 2度音程を聴き音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習す る	17	12月16日	講義・演習	S連符のリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、 CMajor/Minorのメロディー書き取り、コードの読み分け(C.G.F)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
3	10月14日	講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習す る	18	12月18日	講義・演習	CMajorのメロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナー keyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習す る
4	10月16日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き 取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取 り、音程を復習する	19	1月6日	講義・演習	リズム打ち、コード付き(C.G.F)メロディー書き取り、 CMajorのメロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナー keyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習す る
5	10月21日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロ ディーの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する	20	1月8日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロディー書 き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
6	11月6日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロ ディーの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する	21	1月13日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロディー書 き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
7	11月11日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える	22	1月15日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	11月13日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リ ズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する	23	1月20日	講義・演習	6/8拍子・タイの付いたリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロ ディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
9	11月18日	講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書 き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する	24	1月22日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロ ディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
10	11月20日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズ ム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する	25	1月27日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロ ディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
11	11月25日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズ ム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する	26	1月29日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コ ード付き(C.G.F)メロディー書き取り、大譜表のメロディー書 き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
12	11月27日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズ ム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major/Minorのコード判定	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する	27	2月10日	講義・演習	コード付き(C.G.F)メロディー書き取り、大譜表のメロディー書 き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
13	12月2日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する	28	2月12日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
14	12月4日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習	29	2月17日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習
15	12月9日	講義・演習	テスト返却、総復習	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習す る	30	2月19日	講義・演習	テスト返却、総復習	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
準備学習 時間外学習	前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える				準備学習 時間外学習	前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える			
【使用教科書・教材・参考書】					【使用教科書・教材・参考書】 「イヤートレーニング」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事 業部(発本)				

科目名	イベント企画(3) イベント企画A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	斎藤慧
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。						
到達目標	自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く ・収集 した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	オリエンテーション(年間3イベントの説明、授業の進め方、目標確認、前期グループ分け)	コンサート、ライブ、イベントを映像で調べレポート提出
2	5月25日	講義・演習	基礎テスト、グループワーク 情報について理解する	収集した情報を整理 レポート
3	6月1日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 セクションを理解する	収集した情報を整理 レポート
4	6月8日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チーム作業を理解する	収集した情報を整理 レポート
5	6月15日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要ページについて理解する	収集した情報を整理 レポート
6	6月22日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要項目の選定を理解する	収集した情報を整理 レポート
7	6月29日	講義・演習	明日への扉 DVD鑑賞、明日への扉 マニュアルを理解する	収集した情報を整理 レポート
8	7月6日	講義・演習	イベントの組み立て方 宣伝について理解する	収集した情報を整理 レポート
9	7月13日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チケットについて理解する	収集した情報を整理 レポート
10	7月20日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 避難経路について理解する	収集した情報を整理 レポート
11	7月27日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 見やすいマニュアルを知る	収集した情報を整理 レポート
12	8月17日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 マニュアルの必要性を学ぶ	収集した情報を整理 レポート
13	8月24日	講義・演習	イベント振り返り、期末テスト	収集した情報を整理 レポート
14	8月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
15	9月14日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(3) イベント企画B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	斎藤慧
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。						
到達目標	自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く ・収集 した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	オリエンテーション(年間3イベントの説明、授業の進め方、目標確認、前期グループ分け)	コンサート、ライブ、イベントを映像で調べレポート提出
2	5月25日	講義・演習	基礎テスト、グループワーク 情報について理解する	収集した情報を整理 レポート
3	6月1日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 セクションを理解する	収集した情報を整理 レポート
4	6月8日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チーム作業を理解する	収集した情報を整理 レポート
5	6月15日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要ページについて理解する	収集した情報を整理 レポート
6	6月22日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要項目の選定を理解する	収集した情報を整理 レポート
7	6月29日	講義・演習	明日への扉 DVD鑑賞、明日への扉 マニュアルを理解する	収集した情報を整理 レポート
8	7月6日	講義・演習	イベントの組み立て方 宣伝について理解する	収集した情報を整理 レポート
9	7月13日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チケットについて理解する	収集した情報を整理 レポート
10	7月20日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 避難経路について理解する	収集した情報を整理 レポート
11	7月27日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 見やすいマニュアルを知る	収集した情報を整理 レポート
12	8月17日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 マニュアルの必要性を学ぶ	収集した情報を整理 レポート
13	8月24日	講義・演習	イベント振り返り、期末テスト	収集した情報を整理 レポート
14	8月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
15	9月14日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(4) イベント企画A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	斎藤慧
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。						
到達目標	自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く ・収集 した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	オリエンテーション(後期授業の進め方、目標確認、後期グループ分け)	収集した情報を整理 レポート提出
2	10月12日	講義・演習	ワークショップ(チームワークについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
3	10月19日	講義・演習	ワークショップ(コミュニケーションについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
4	11月9日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 スケジュールリングについて学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
5	11月16日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方を知る	収集した情報を整理 レポート提出
6	11月23日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 資料締切日の設定方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
7	11月30日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 プロデュース方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
8	12月7日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 主催者と制作者の違いを把握する	収集した情報を整理 レポート提出
9	12月14日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 イベンターとは？を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
10	12月21日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 シーパーの使用方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
11	1月18日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 ケータリングについて理解する	収集した情報を整理 レポート提出
12	1月25日	講義・演習	期末テスト	収集した情報を整理 レポート提出
13	2月1日	講義・演習	イベントの反省点から見る必要知識について学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
14	2月8日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
15	2月15日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(4) イベント企画B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	斎藤慧
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<p>講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える-</p> <p>受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える</p> <p>TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。</p>						
到達目標	<p>自発的な行動力を身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く <p>・収集した 情報を整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	オリエンテーション(後期授業の進め方、目標確認、後期グループ分け)	収集した情報を整理 レポート提出
2	10月12日	講義・演習	ワークショップ(チームワークについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
3	10月19日	講義・演習	ワークショップ(コミュニケーションについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
4	11月9日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 スケジューリングについて学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
5	11月16日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方を知る	収集した情報を整理 レポート提出
6	11月23日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 資料締切日の設定方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
7	11月30日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 プロデュース方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
8	12月7日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 主催者と制作者の違いを把握する	収集した情報を整理 レポート提出
9	12月14日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 イベントとは？を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
10	12月21日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 シーパーの使用方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
11	1月18日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 ケータリングについて理解する	収集した情報を整理 レポート提出
12	1月25日	講義・演習	期末テスト	収集した情報を整理 レポート提出
13	2月1日	講義・演習	イベントの反省点から見る必要知識について学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
14	2月8日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
15	2月15日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Music Business IT(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中山聡 高部雄大 足立雄
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	(中山) 作編曲家。提供実績(SPEED Dream AKB48 乃木坂46 日向坂46 氷川きよし アニメ等 他多数) (高部) 音楽映像作家 テクノミュージック作家 過去に横浜アリーナWIRE10出演 学校関連の動画を全国的に担当						
授業の学習 内容	パソコンの進化により、今まではレコーディングスタジオでのみ出来た作業が簡単にできるようになりました。ライブ用にサイズ変更したり、ラジオの完パケやスポットも作成できます。以上をふまえProToolsを使い、楽曲のサイズ変更をできるようにする。楽曲と効果音を使い、秒数指定のスポットを作成できるようにする。 動画編集の基礎知識。主にAdobe Premiere Proを使用。将来動画関連の仕事に関わるイメージ想像。 動画編集への苦手意識改善。動画を絡めたビジネスへの興味関心向上。						
到達目標	ProToolsの基本的知識。ProTools上でオーディオを扱うことへの理解。 Adobe Premiere Proを使用し簡単な動画編集と書き出しを可能にする。 自分のビジネスと動画を絡める想像力。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実践(we are)を通して映像編集を学ぶ	レポート
2	10月15日	講義・演習	イベント実践(we are)を通して楽曲編集を学ぶ	レポート
3	10月22日	講義・演習	テレビデータ 素材の概念を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
4	11月5日	講義・演習	エディット画面の説明 エフェクトの概念を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
5	11月12日	講義・演習	演出効果の説明を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
6	11月19日	講義・演習	編集作業/書き出し方法を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
7	11月26日	講義・演習	音源の活用方法を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
8	12月3日	講義・演習	編集を理解する	課題提出(レポート)
9	12月10日	講義・演習	編集を完成させる	課題提出(レポート)
10	12月17日	講義・演習	音声ファイルの種類、セッション作成、トラック作成を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
11	1月7日	講義・演習	ミキサー画面、エディット画面、各種ツールの機能、音源インポートを理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
12	1月14日	講義・演習	バウンス、エクスポート、メドレー作成を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
13	1月21日	講義・演習	波形分割、サイズ変更を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
14	1月28日	講義・演習	波形分割、サイズ変更(イレギュラーな楽曲)を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
15	2月11日	講義・演習	エフェクトの各種説明を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
準備学習 時間外学習		授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらなかったものを準備学習とします。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	堀夏美 松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	レポート
2	5月30日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	レポート
3	6月6日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	レポート
4	6月13日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	レポート
5	6月20日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成できる	レポート
6	6月27日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションができるようになる	レポート
7	7月4日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	レポート
8	7月11日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	レポート
9	7月18日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	レポート
10	8月1日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	レポート
11	8月22日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	レポート
12	8月29日	講義・演習	イベントにおける振り返りを行うことで問題点を理解することができる	レポート
13	9月5日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	レポート
14	9月12日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月19日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	堀夏美 松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	レポート
2	10月17日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	レポート
3	10月24日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	レポート
4	11月7日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	レポート
5	11月14日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	レポート
6	11月21日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	レポート
7	11月28日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	レポート
8	12月5日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	レポート
9	12月12日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決することができる	レポート
10	12月19日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	レポート
11	1月9日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成することができる	レポート
12	1月16日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	レポート
13	1月23日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	レポート
14	1月30日	講義・演習	we are TSM ! を通してイベント制作を理解することができる	レポート
15	2月13日	講義・演習	we are TSM ! を通してイベント制作を理解することができる	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	著作権(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	5月30日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	6月6日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	6月13日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	6月20日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	6月27日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	7月4日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	7月11日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月18日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	8月1日	講義・演習	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	8月8日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	8月22日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月29日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月5日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月12日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習		教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月17日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3	11月3日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	11月14日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	11月21日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月28日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	12月7日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	12月12日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月19日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	1月9日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	1月16日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月23日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	1月30日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	2月13日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月20日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	IT講座(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩越教彦
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	●モバイル環境は5G時代を迎え、テレワーク、在宅ワークの必要性も叫ばれる中で、パソコンやモバイル機器を介した各種の仕事スキルが要求されている。						
到達目標	●コンピュータ、モバイル機器、インターネットが提供する各種サービスを、正しく安全に、積極的に活用できるスキルを身につける。 ●フライヤーの制作、動画の編集、請求書作成から、高度な検索まで幅広い実習を経験する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	授業オリエン、授業準備	Macルームの利用ルールを確認しておく(ワークシート)
2	5月29日	講義・演習	ワードで視認性の良いフライヤーを作る	基本操作を把握しておく(ワークシート)
3	6月5日	講義・演習	イラレの基本操作	あらかじめネットで調べておく(ワークシート)
4	6月12日	講義・演習	イラレで視認性の良いフライヤーを作る	基本操作を把握しておく(ワークシート)
5	6月19日	講義・演習	フォトショの基本操作 画像修正実習	基本操作を把握しておく(ワークシート)
6	6月26日	講義・演習	画像編集アプリの基本操作	アプリをDL、基本操作を把握しておく(ワークシート)
7	7月3日	講義・演習	動画編集の定石 YouTubeについて	テレビやネットの動画編集を観ておく(ワークシート)
8	7月10日	講義・演習	iMovieで動画編集 30秒編	iMovieをダウンロードしておく(ワークシート)
9	7月17日	講義・演習	iMovieで動画編集 3分編	短い動画クリップをDLしておく(ワークシート)
10	7月31日	講義・演習	Excelの基礎 表・関数・グラフ	基本操作を把握しておく(ワークシート)
11	8月7日	講義・演習	Excelテンプレートで請求書を作る	テンプレートを探しておく(ワークシート)
12	8月21日	講義・演習	好感度法則に基づいたラフ作成	テーマについて考えておく(ワークシート)
13	8月28日	講義・演習	高度なネット検索	各種検索について調べておく(ワークシート)
14	9月4日	講義・演習	セキュリティの知識 レポート作成	サイバー犯罪について調べておく(ワークシート)
15	9月11日	講義・演習	知識習得度確認テスト	総復習(レポート)
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	IT講座(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩越教彦
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ●モバイル環境は5G時代を迎え、テレワーク、在宅ワークの必要性も叫ばれる中で、パソコンやモバイル機器を介した各種の仕事スキルが要求されている。 ●本授業では、パソコン、タブレット、スマホなどをベースに、ネット環境やアプリを利用した各種の情報処理実習を通じて、ショウビジネスに特化した、最低限のITスキルを身に付ける。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●コンピュータ、モバイル機器、インターネットが提供する各種サービスを、正しく安全に、積極的に活用できるスキルを身につける。 ●フライヤーの制作、動画の編集、請求書作成から、高度な検索まで幅広い実習を経験する。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	授業オリエン、授業準備	Macルームの利用ルールを確認しておく(ワークシート)
2	10月16日	講義・演習	ワードで視認性の良いフライヤーを作る	基本操作を把握しておく(ワークシート)
3	11月6日	講義・演習	イラレの基本操作	あらかじめネットで調べておく(ワークシート)
4	11月13日	講義・演習	イラレで視認性の良いフライヤーを作る	基本操作を把握しておく(ワークシート)
5	11月20日	講義・演習	フォトショの基本操作 画像修正実習	基本操作を把握しておく(ワークシート)
6	11月27日	講義・演習	画像編集アプリの基本操作	アプリをDL、基本操作を把握しておく(ワークシート)
7	12月4日	講義・演習	動画編集の定石 YouTubeについて	テレビやネットの動画編集を観ておく(ワークシート)
8	12月11日	講義・演習	iMovieで動画編集 30秒編	iMovieをダウンロードしておく(ワークシート)
9	12月18日	講義・演習	iMovieで動画編集 3分編	短い動画クリップをDLしておく(ワークシート)
10	1月8日	講義・演習	Excelの基礎 表・関数・グラフ	基本操作を把握しておく(ワークシート)
11	1月15日	講義・演習	Excelテンプレートで請求書を作る	テンプレートを探しておく(ワークシート)
12	1月22日	講義・演習	好感度法則に基づいたラフ作成	テーマについて考えておく(ワークシート)
13	1月29日	講義・演習	高度なネット検索	各種検索について調べておく(ワークシート)
14	2月12日	講義・演習	セキュリティの知識 レポート作成	サイバー犯罪について調べておく(ワークシート)
15	2月19日	講義・演習	知識習得度確認テスト	総復習(レポート)
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Global Communication(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	paul searle
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2	5月25日	講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3	6月3日	講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4	6月8日	講義・演習	相手に意見を聞く事、伝える事が出来るようになる 誘いに返答する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5	6月15日	講義・演習	相手について褒める事が出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6	6月22日	講義・演習	時間について尋ねる事、伝達する事が出来るようになる 日常生活について尋ね、説明する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7	6月29日	講義・演習	継続して質問する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit14
8	7月8日	講義・演習	場所について質問、説明する事、道案内ができるようになる。 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 19&20
9	7月13日	講義・演習	頻度について質問、説明することが出来るようになる 値段について質問、説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21&23
10	7月20日	講義・演習	食べ物について質問、食べ物を説明出来るようになる レストランで注文できるようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11	7月27日	講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明できるようになる	オンラインプラクティス Unit 29&30
12	8月3日	講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明できるようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13	8月17日	講義・演習	復習	復習オンラインプラクティス
14	8月24日	講義・演習	定期試験	定期試験の復習
15	8月31日	講義・演習	振り返り	前回までの内容の確認
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				

科目名	Global Communication(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	paul searle
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2	10月12日	講義・演習	個人の情報を聞きだす事が出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3	10月19日	講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返す事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4	11月4日	講義・演習	相手に意見を聞く、伝える事が出来るようになる 誘いに返答する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5	11月16日	講義・演習	相手について褒める事が出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6	11月23日	講義・演習	時間について尋ねる、伝達する事が出来るようになる 日常生活について尋ね、説明する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7	11月30日	講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 14
8	12月7日	講義・演習	場所について質問、説明、道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 19 & 20
9	12月14日	講義・演習	頻度について質問、説明する事が出来るようになる 値段について質問、説明する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21 & 23
10	12月21日	講義・演習	食べ物について質問、説明する事が出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11	1月18日	講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 29 & 30
12	1月25日	講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13	2月1日	講義・演習	復習	復習オンラインプラクティス
14	2月8日	講義・演習	定期試験	定期試験の復習
15	2月15日	講義・演習	振り返り	前回までの内容の確認
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				

科目名	音楽史(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学び理解説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	アメリカの地理・歴史について説明ができる。	アメリカの地理・歴史の復習レポートをまとめる。
2	5月25日	講義・演習	19世紀のアメリカとその音楽。	19世紀のアメリカの復習レポートをまとめる。
3	6月1日	講義・演習	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会について説明ができる。	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会の復習レポートをまとめる。
4	6月8日	講義・演習	ニューオーリンズ・ジャズについて説明ができる。	ニューオーリンズ・ジャズの復習レポートをまとめる。
5	6月15日	講義・演習	スイング・ジャズとビッグバンドについて説明ができる。。	スイング・ジャズとビッグバンドの復習レポートをまとめる。
6	6月22日	講義・演習	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックについて説明ができる。	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックの復習レポートをまとめる。
7	6月29日	講義・演習	ハードバップ、アフロキューバン、そしてウエストコースト・ジャズについて説明ができる。	ハードバップ、アフロキューバン、の復習レポートをまとめる。
8	7月6日	講義・演習	中間試験、及び中間課題の発表・提出。	1~7回の復習レポートをまとめる。
9	7月13日	講義・演習	モードジャズの始まりと発展について説明ができる。	モードジャズの復習レポートをまとめる。
10	7月20日	講義・演習	フリージャズと呼ばれる音楽とそのスタイルについて説明ができる。	フリージャズの復習レポートをまとめる。
11	7月27日	講義・演習	"ビ・バップ"の発展とミュージシャンの変化について説明ができる。	"ビ・バップ"の復習レポートをまとめる。
12	8月3日	講義・演習	ロック、ジャズそれぞれについて説明ができる。	ロックに影響されるジャズの復習レポートをまとめる。
13	8月17日	講義・演習	ジャズと世界の音楽の交流について説明ができる。	ジャズと世界の音楽の交流の復習レポートをまとめる。
14	8月24日	講義・演習	現代、現在のジャズについて説明ができる。	現代、現在のジャズの復習レポートをまとめる。
15	8月31日	講義・演習	期末試験及び、期末課題の発表・提出。	1~14回の復習レポートをまとめる。
準備学習 時間外学習		西洋音楽について各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】				
Music History				

科目名	音楽史(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	アメリカの現代史と音楽ジャンルの説明ができる。	アメリカの現代史と音楽ジャンルの復習レポートをまとめる。
2	10月12日	講義・演習	スコット・ジョップリン(1868-1917)の説明ができる。	スコット・ジョップリン(1868-1917)の復習レポートをまとめる。
3	10月19日	講義・演習	デューク・エリントン(1899-1974)の解説ができる。	デューク・エリントン(1899-1974)の復習レポートをまとめる。
4	11月9日	講義・演習	ルイ・アームストロング(1901-1971)“ジャズ”について説明できる。	ルイ・アームストロング(1901-1971)の復習レポートをまとめる。
5	11月16日	講義・演習	ロバート・ジョンソン(1911-1938)ロック、ブルースについて説明できる。	ロバート・ジョンソン(1911-1938)の復習レポートをまとめる。
6	11月23日	講義・演習	チャーリー・パーカー(1920-1955)インプロヴィゼーションについて解説できる。	チャーリー・パーカー(1920-1955)の復習レポートをまとめる。
7	11月30日	講義・演習	マイルス・デイヴィス(1926-1991)について解説できる。	マイルス・デイヴィス(1926-1991)の復習レポートをまとめる。
8	12月7日	講義・演習	その他のアフリカン・アメリカンアーティストについて説明ができる。	1~7回の復習レポートをまとめる。
9	12月14日	講義・演習	ジェームス・ブラウン(1933-2006)ソウル、ファンクについて解説できる。	ジェームス・ブラウン(1933-2006)の復習レポートをまとめる。
10	12月21日	講義・演習	クインシー・ジョーンズ(1933-)プロデューサーについて説明できる。	クインシー・ジョーンズ(1933-)の復習レポートをまとめる。
11	1月18日	講義・演習	ジミ・ヘンドリックス(1942-1970)について説明できる。	ジミ・ヘンドリックス(1942-1970)の復習レポートをまとめる。
12	1月25日	講義・演習	モータウン(1959-1994)ポップスについて解説できる。	モータウン(1959-1994)の研究復習レポートをまとめる。
13	2月1日	講義・演習	スティーヴィー・ワンダー(1950-)ソングライティングについて解説できる。	スティーヴィー・ワンダー(1950-)の研究
14	2月8日	講義・演習	マイケル・ジャクソン(1958-2009)モータウン、ポップスを解説できる。	マイケル・ジャクソン(1958-2009)の研究
15	2月15日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の発表・提出	1~14回の復習
準備学習 時間外学習			アフロミュージックについて各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	ストリートダンスA(5) KRUMP(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	白石健二
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	KRUMPを通して競争心や心の解放を感じて欲しい						
到達目標	KRUMPでの自分のスタイルを確立する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	KRUMPとは	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
2	5月27日	講義・演習	ベーシックを用いた振り付け	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
3	6月3日	講義・演習	ストンプ	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
4	6月10日	講義・演習	腕をハードに使う	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
5	6月17日	講義・演習	Liveness	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
6	6月24日	講義・演習	ポージング	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
7	7月1日	講義・演習	バウンス	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
8	7月8日	講義・演習	長めの振り付け	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
9	7月15日	講義・演習	Buckness	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
10	7月22日	講義・演習	セッション	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
11	7月29日	講義・演習	セッション②	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
12	8月5日	講義・演習	TEST	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
13	8月19日	講義・演習	session&battle	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
14	8月26日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月2日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでFree Styleを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ストリートダンスA(6) KRUMP(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	白石健二
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	KRUMPを通して競争心や心の解放を感じて欲しい						
到達目標	KRUMPでの自分のスタイルを確立する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	ベーシックの振り付け	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
2	10月14日	講義・演習	ストーリー①	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
3	10月21日	講義・演習	ストーリー②	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
4	11月11日	講義・演習	キャラクター①	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
5	11月18日	講義・演習	キャラクター②	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
6	11月25日	講義・演習	フットワーク	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
7	12月2日	講義・演習	キルオフについて	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
8	12月9日	講義・演習	ミュージカリティ	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
9	12月16日	講義・演習	トラベリング	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
10	1月6日	講義・演習	session & battle①	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
11	1月13日	講義・演習	session & battle②	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
12	1月20日	講義・演習	session & battle③	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
13	1月27日	講義・演習	session & battle④	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでFree Styleを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽制作概論(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	勝田修平
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	卒業制作CDの企画、制作、レコーディングを通じコンセプトワークの重要性を学び、明確な目的、 目標を持った制作作業につなげる。						
到達目標	過去2年間で習得した、制作作業の正確さ、緻密さ、制作スピードに加えコンセプトワークを基礎とし、 音楽制作者として「ブレのない」作品作りを可能とする総合的な音楽制作能力を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・実習	年度末までの目標設定/グループ分け	ワークシート
2	5月25日	講義・実習	制作コンセプト、サウンドコンセプトのチェック	ワークシート
3	6月1日	講義・実習	企画書作成の基礎知識	ワークシート
4	6月8日	講義・実習	グループ毎に企画書のチェック	ワークシート
5	6月15日	講義・実習	制作報告M-ティング(メロディー編)	ワークシート
6	6月22日	講義・実習	制作報告M-ティング(アレンジ編)	ワークシート
7	6月29日	講義・実習	制作報告M-ティング(Edit編)	ワークシート
8	7月6日	講義・実習	制作報告M-ティング(スコア編)	ワークシート
9	7月13日	講義・実習	制作報告M-ティング(歌詞編)	ワークシート
10	7月20日	講義・実習	制作報告M-ティング(構成編)	ワークシート
11	7月27日	講義・実習	制作報告M-ティング(Mix編)	ワークシート
12	8月3日	講義・実習	制作報告M-ティング(マスタリング編)	ワークシート
13	8月17日	講義・実習	前期総括と後期目標提示	ワークシート
14	8月24日	講義・実習	イベント実践を通して音楽制作を学ぶ	レポートの提出
15	8月31日	講義・実習	イベント実践を通して音楽制作を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設設備				

科目名	音楽制作概論(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	勝田修平
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	卒業制作CDの企画、制作、レコーディングを通じコンセプトワークの重要性を学び、明確な目的、目標を持った制作作業につなげる。						
到達目標	過去2年間で習得した、制作作業の正確さ、緻密さ、制作スピードに加えコンセプトワークを基礎とし、音楽制作者として「ブレのない」作品作りを可能とする総合的な音楽制作能力を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・実習	後期の目標提示と各締切の確認	ワークシート
2	10月12日	講義・実習	制作報告M-ティング(曲タイトル編)	ワークシート
3	10月19日	講義・実習	制作報告M-ティング(アルバムタイトル編)	ワークシート
4	11月9日	講義・実習	制作報告M-ティング(曲毎のクレジット編)	ワークシート
5	11月16日	講義・実習	制作報告M-ティング(トータルクレジット編)	ワークシート
6	11月23日	講義・実習	制作報告M-ティング(ビジュアル編)	ワークシート
7	11月30日	講義・実習	グループ毎にマスターデータの確認	ワークシート
8	12月7日	講義・実習	グループ毎にブックレットデータの確認	ワークシート
9	12月14日	講義・実習	グループ毎にバックカバーデータの確認	ワークシート
10	12月21日	講義・実習	グループ毎にデザインデータの確認	ワークシート
11	1月18日	講義・実習	グループ毎にデザインデータの入稿	ワークシート
12	1月25日	講義・実習	グループ毎にレーベルデータの確認	ワークシート
13	2月1日	講義・実習	グループ毎にパッケージ作業	ワークシート
14	2月8日	講義・実習	イベント実践を通して音楽制作を学ぶ	レポートの提出
15	2月15日	講義・実習	イベント実践を通して音楽制作を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設設備				

科目名	卒業制作(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	勝田修平
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	150 (10単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	CD制作Projectと連動し、企画書の作り方、3年間の集大成となるCDの制作をするにあたり、目標を明確にした制作作業を行う。						
到達目標	各生徒個別の役割(作家、編曲家、ミュージシャン、プロデューサー、マネージャーなど)に沿った実践的な制作体験をもとに卒業後、社会人として働くプロの現場で対応できる企画書・プレゼン能力・作品制作力を身につける。						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	テーマ考案 企画書の作り方を学ぶ	レポート
2	4月25日	講義・演習	プレゼンテーションのためのPPTを学ぶ	レポート
3	5月9日	講義・演習	企画書作成 骨組みを考える	企画テーマに基づき企画書の作成
4	5月16日	講義・演習	企画書作成 動機づけを考える	企画テーマに基づき企画書の作成
5	5月30日	講義・演習	企画書作成 道筋を考える	企画テーマに基づき企画書の作成
6	6月6日	講義・演習	プレゼンテーションを実際に行う	企画テーマに基づき企画書の作成
7	6月13日	講義・演習	曲作りのためのチーム分けを行う	REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
8	6月20日	講義・演習	REC準備を行い、制作スケジュールを組む	曲作り、RECスタッフ、音楽家の手配など
9	6月27日	講義・演習	作詞を考える	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
10	7月4日	講義・演習	作曲を考える	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
11	7月11日	講義・演習	プレゼンテーションを実際に行う	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
12	7月18日	講義・演習	疑似レコーディングを行う	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
13	9月5日	講義・演習	疑似ミックスを行う	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
14	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
15	9月19日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	卒業制作(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	勝田修平
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	150 (10単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	CD制作Projectと連動し、企画書の作り方、3年間の集大成となるCDの制作をするにあたり、目標を明確にした制作作業を行う。						
到達目標	各生徒個別の役割(作家、編曲家、ミュージシャン、プロデューサー、マネージャーなど)に沿った実践的な制作体験をもとに卒業後、社会人として働くプロの現場で対応できる企画書・プレゼン能力・作品制作力を身につける。						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	レコーディングを行う Vo	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
2	10月11日	講義・演習	レコーディングを行う Gt	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
3	10月18日	講義・演習	レコーディングを行う Ba	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
4	10月25日	講義・演習	レコーディングを行う Dr	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
5	11月8日	講義・演習	レコーディングを行う Key	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
6	11月15日	講義・演習	レコーディングを行う Cho	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
7	11月22日	講義・演習	レコーディングを行う Em	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
8	11月29日	講義・演習	盤面デザインを考える	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
9	12月6日	講義・演習	楽曲イメージとデザインの相関性を学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
10	12月13日	講義・演習	楽曲の統一性、一貫性を学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
11	12月20日	講義・演習	マスタリングにおける一貫性について学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
12	1月10日	講義・演習	マスタリングにおける音声修復について学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
13	1月17日	講義・演習	マスタリングデータ、アートワークデータ納品を行う	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
14	1月24日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(5) イベント企画A(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	斎藤慧
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く <ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	オリエンテーション(年間3イベントの説明、授業の進め方、目標確認、前期グループ分け)	コンサート、ライブ、イベントを映像で調べレポート提出
2	5月25日	講義・演習	基礎テスト、グループワーク 情報について理解する	収集した情報を整理 レポート
3	6月1日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 セクションを理解する	収集した情報を整理 レポート
4	6月8日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チーム作業を理解する	収集した情報を整理 レポート
5	6月15日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要ページについて理解する	収集した情報を整理 レポート
6	6月22日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要項目の選定を理解する	収集した情報を整理 レポート
7	6月29日	講義・演習	明日への扉 DVD鑑賞、明日への扉 マニュアルを理解する	収集した情報を整理 レポート
8	7月6日	講義・演習	イベントの組み立て方 宣伝について理解する	収集した情報を整理 レポート
9	7月13日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チケットについて理解する	収集した情報を整理 レポート
10	7月20日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 避難経路について理解する	収集した情報を整理 レポート
11	7月27日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 見やすいマニュアルを知る	収集した情報を整理 レポート
12	8月17日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 マニュアルの必要性を学ぶ	収集した情報を整理 レポート
13	8月24日	講義・演習	イベント振り返り、期末テスト	収集した情報を整理 レポート
14	8月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
15	9月14日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(5) イベント企画B(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	斎藤慧
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く <ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	オリエンテーション(年間3イベントの説明、授業の進め方、目標確認、前期グループ分け)	コンサート、ライブ、イベントを映像で調べレポート提出
2	5月25日	講義・演習	基礎テスト、グループワーク 情報について理解する	収集した情報を整理 レポート
3	6月1日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 セクションを理解する	収集した情報を整理 レポート
4	6月8日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チーム作業を理解する	収集した情報を整理 レポート
5	6月15日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要ページについて理解する	収集した情報を整理 レポート
6	6月22日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要項目の選定を理解する	収集した情報を整理 レポート
7	6月29日	講義・演習	明日への扉 DVD鑑賞、明日への扉 マニュアルを理解する	収集した情報を整理 レポート
8	7月6日	講義・演習	イベントの組み立て方 宣伝について理解する	収集した情報を整理 レポート
9	7月13日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チケットについて理解する	収集した情報を整理 レポート
10	7月20日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 避難経路について理解する	収集した情報を整理 レポート
11	7月27日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 見やすいマニュアルを知る	収集した情報を整理 レポート
12	8月17日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 マニュアルの必要性を学ぶ	収集した情報を整理 レポート
13	8月24日	講義・演習	イベント振り返り、期末テスト	収集した情報を整理 レポート
14	8月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
15	9月14日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(6) イベント企画A(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	斎藤慧
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く 集めた情報を整理する <ul style="list-style-type: none"> ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする 						・取
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	オリエンテーション(後期授業の進め方、目標確認、後期グループ分け)	収集した情報を整理 レポート提出
2	10月12日	講義・演習	ワークショップ(チームワークについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
3	10月19日	講義・演習	ワークショップ(コミュニケーションについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
4	11月9日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 スケジュールリングについて学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
5	11月16日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方を知る	収集した情報を整理 レポート提出
6	11月23日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 資料締切日の設定方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
7	11月30日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 プロデュース方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
8	12月7日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 主催者と制作者の違いを把握する	収集した情報を整理 レポート提出
9	12月14日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 イベンターとは？を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
10	12月21日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 シーパーの使用方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
11	1月18日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 ケータリングについて理解する	収集した情報を整理 レポート提出
12	1月25日	講義・演習	期末テスト	収集した情報を整理 レポート提出
13	2月1日	講義・演習	イベントの反省点から見る必要知識について学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
14	2月8日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
15	2月15日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(6) イベント企画B(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	斎藤慧
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く 集めた情報を整理する <ul style="list-style-type: none"> ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする 						・収
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	オリエンテーション(後期授業の進め方、目標確認、後期グループ分け)	収集した情報を整理 レポート提出
2	10月12日	講義・演習	ワークショップ(チームワークについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
3	10月19日	講義・演習	ワークショップ(コミュニケーションについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
4	11月9日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 スケジュールリングについて学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
5	11月16日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方を知る	収集した情報を整理 レポート提出
6	11月23日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 資料締切日の設定方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
7	11月30日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 プロデュース方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
8	12月7日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 主催者と制作者の違いを把握する	収集した情報を整理 レポート提出
9	12月14日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 イベンターとは？を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
10	12月21日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 シーパーの使用方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
11	1月18日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 ケータリングについて理解する	収集した情報を整理 レポート提出
12	1月25日	講義・演習	期末テスト	収集した情報を整理 レポート提出
13	2月1日	講義・演習	イベントの反省点から見る必要知識について学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
14	2月8日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
15	2月15日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松尾有里子 堀夏 美
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	レポート
2	5月30日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	レポート
3	6月6日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	レポート
4	6月13日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	レポート
5	6月20日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成する事ができる	レポート
6	6月27日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	レポート
7	7月4日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	レポート
8	7月11日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	レポート
9	7月18日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	レポート
10	8月1日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	レポート
11	8月22日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	レポート
12	8月29日	講義・演習	イベントにおける振り返りを行うことで問題点を理解することができる	レポート
13	9月5日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	レポート
14	9月12日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月19日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松尾有里子 堀夏 美
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	レポート
2	10月17日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	レポート
3	10月24日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	レポート
4	11月7日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	レポート
5	11月14日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	レポート
6	11月21日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	レポート
7	11月28日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	レポート
8	12月5日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	レポート
9	12月12日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決することができる	レポート
10	12月19日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	レポート
11	1月9日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成することができる	レポート
12	1月16日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	レポート
13	1月23日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	レポート
14	1月30日	講義・演習	we areTSM!を通してイベント制作を理解することができる	レポート
15	2月13日	講義・演習	we areTSM!を通してイベント制作を理解することができる	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(5) Ba Adv(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法及び基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	ラテン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なボサノバのパターンを例題にて説明する。	次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
2	5月26日	講義・演習	ラテン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なサンバのパターンを例題にて説明する。	次のChapterのエクササイズの実践、未達成箇所の復習
3	6月2日	講義・演習	ボサノバのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のエクササイズの実践、未達成箇所の復習
4	6月9日	講義・演習	サンバのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
5	6月16日	講義・演習	6/8拍子ラテン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	次の予習と練習、未達成箇所の復習
6	6月23日	講義・演習	6/8拍子ラテン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	次のエクササイズの実践、未達成箇所の復習
7	6月30日	講義・演習	6/8拍子ラテン・ジャズのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のエクササイズの実践、未達成箇所の復習
8	7月7日	講義・演習	6/8拍子ラテン・ジャズのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
9	7月14日	講義・演習	フロ・キューバン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なルンバ・パターンを例題にて説明する。	次の予習と練習、未達成箇所の復習
10	7月21日	講義・演習	フロ・キューバン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なソンゴ・パターンを例題にて説明する。	次のエクササイズの実践、未達成箇所の復習
11	7月28日	講義・演習	ルンバのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のエクササイズの実践、未達成箇所の復習
12	8月4日	講義・演習	ソンゴのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
13	8月18日	講義・演習	ジャズ・フュージョンの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	次の予習と練習、未達成箇所の復習
14	8月25日	講義・演習	イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	9月1日	講義・演習	イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習			教科書を用いて事前に授業内容を把握しておく。授業時間外でベースプレイの練習を行う。1日1時間。	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版教科書、Standard Midi File、Standard Midi Player				

科目名	楽器応用(5) Key SPL(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	キーボード、ピアノを用いてメロディー、リズム、ハーモニーについての理解を深めるため、様々なジャンルの音楽を通して演奏と理論を講義や演習で学ぶ						
到達目標	メロディーやハーモニーについての理解を深め、様々なジャンルを理解し、キーボード、ピアノを演奏するための基礎技術を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	課題曲(1)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
2	5月26日	講義・演習	課題曲(1)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
3	6月2日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
4	6月9日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
5	6月16日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
6	6月23日	講義・演習	課題曲(3)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
7	6月30日	講義・演習	課題曲(3)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
8	7月7日	講義・演習	課題曲(4)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
9	7月14日	講義・演習	課題曲(4)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
10	7月21日	講義・演習	課題曲(5)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
11	7月28日	講義・演習	課題曲(5)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
12	8月25日	講義・演習	課題曲(6)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
13	9月1日	講義・演習	課題曲(6)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
準備学習 時間外学習		講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	楽器応用(6) Gt Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	廣瀬昌明
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴	Brainsout, イガバンBBなどでの活動の他、アーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。						
授業の学習 内容	MC1,MC2で扱ったスケール/アルペジオ/コードワーク/テクニックをベースに、より自由に、よりハーモニックに演奏するためのアドバンス・アプローチを学んでいきます。						
到達目標	テンションコード、スラッシュコード、展開形の各コードに対して、複数のアプローチを演奏できるようになる。 代理コードを使って、オリジナルのアレンジを行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	前期で学んだ授業内容を振り返り、予習と復習を行う
2	10月14日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	前期で学んだ授業内容を振り返り、予習と復習を行う
3	10月21日	講義・演習	メロディックマイナーのモード(1)	V7b5,#5,b9,#9
4	11月11日	講義・演習	メロディックマイナーのモード(2)	I7#4
5	11月18日	講義・演習	代理コードアプローチとアレンジ	類似コードをグループ化する
6	11月25日	講義・演習	maj7インバージョン	3.5.7からの展開形
7	12月2日	講義・演習	m7インバージョン	3.5.7からの展開形
8	12月9日	講義・演習	dom7/susインバージョン	3.5.7からの展開形
9	12月16日	講義・演習	m7b5インバージョン	3.5.7からの展開形
10	1月6日	講義・演習	ボイス・リーディング(1)	I-ii-iii-IV-V-iv-vii上行下行
11	1月13日	講義・演習	ボイス・リーディング(2) その他の進行の可能性	ii-bII7-I,ii-bII7-i
12	1月20日	講義・演習	クロマチック・アプローチ	メジャー/マイナー各スケールで試す
13	1月27日	講義・演習	dimアプローチADV	I-biiidim-ii-biiidim
14	2月10日	講義・演習	ポリコードとアプローチ・バリエーション	トライアド/トライアドでコードを作る
15	2月17日	講義・演習	「良いミュージシャンとは？」 テクニックとトレーニング、知識をレベルアップする	総復習
準備学習 時間外学習		授業内容を予習・復習し、実際にギターを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)		
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	楽器応用(6) Ba Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ジャズ・フュージョンの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	次のエクササイズの練習、未達成箇所の復習
2	10月13日	講義・演習	ジャズ・フュージョンのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のエクササイズの練習、未達成箇所の復習
3	10月20日	講義・演習	ジャズ・フュージョンのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
4	11月10日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(フュージョン)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
5	11月17日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(フュージョン)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
6	11月24日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(ファンク)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
7	12月1日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(ファンク)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
8	12月8日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(パワース・フュージョン)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
9	12月15日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(パワース・フュージョン)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
10	12月22日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(6/8拍子)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
11	1月12日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(6/8拍子)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
12	1月19日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(サンバ)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
13	1月26日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(ソング)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
14	2月9日	講義・演習	イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	2月16日	講義・演習	イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習			教科書を用いて事前に授業内容を把握しておく。授業時間外でベースプレイの練習を行う。1日1時間。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(6) Key SPL(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	キーボード、ピアノを用いてメロディー、リズム、ハーモニーについての理解を深めるため、様々なジャンルの音楽を通して演奏と理論を講義や演習で学ぶ						
到達目標	メロディーやハーモニーについての理解を深め、様々なジャンルを理解し、演奏するための基礎技術を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲(7)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
2	10月13日	講義・演習	課題曲(7)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
3	10月20日	講義・演習	課題曲(8)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
4	11月10日	講義・演習	課題曲(8)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
5	11月17日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
6	11月24日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
7	12月1日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
8	12月8日	講義・演習	課題曲(10)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
9	12月15日	講義・演習	課題曲(10)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
10	12月22日	講義・演習	課題曲(11)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
11	1月12日	講義・演習	課題曲(11)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
12	1月19日	講義・演習	課題曲(12)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
13	1月26日	講義・演習	課題曲(12)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
準備学習 時間外学習		講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	Rock&Pops Ensemble(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松田肇 濱崎大地 國末慶宏
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	Rock,Popsの楽曲のアンサンブルを通しての、技術の向上、楽曲音楽の理解、その他音楽全般の全てについて						
到達目標	プロフェッショナルの現場に向けての準備、自己表現、アートとしての音楽表現について考えられるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	課題曲#1、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
2	5月29日	講義・演習	課題曲#1、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
3	6月5日	講義・演習	課題曲#2、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
4	6月12日	講義・演習	課題曲#2、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
5	6月19日	講義・演習	課題曲#3、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
6	6月26日	講義・演習	課題曲#3、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
7	7月3日	講義・演習	課題曲#4、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
8	7月10日	講義・演習	課題曲#4、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
9	7月17日	講義・演習	課題曲#5、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
10	7月31日	講義・演習	課題曲#5、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
11	8月7日	講義・演習	課題曲#6、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
12	8月21日	講義・演習	課題曲#6、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
13	8月28日	講義・演習	課題曲#7、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
14	9月4日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
15	9月11日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
準備学習 時間外学習			個人練習・各アーティストやRock,Popsの成り立ちについて理解し、良いLiveを体感すること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rock&Pops Ensemble(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松田肇 濱崎大地 國末慶宏
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	Rock,Popsの楽曲のアンサンブルを通しての、技術の向上、楽曲音楽の理解、その他音楽全般の全てについて						
到達目標	プロフェッショナルの現場に向けての準備、自己表現、アートとしての音楽表現について考えられるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	課題曲#1、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
2	10月16日	講義・演習	課題曲#1、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
3	11月6日	講義・演習	課題曲#2、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
4	11月13日	講義・演習	課題曲#2、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
5	11月20日	講義・演習	課題曲#3、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
6	11月27日	講義・演習	課題曲#3、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
7	12月4日	講義・演習	課題曲#4、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
8	12月11日	講義・演習	課題曲#4、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
9	12月18日	講義・演習	課題曲#5、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
10	1月8日	講義・演習	課題曲#5、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
11	1月15日	講義・演習	課題曲#6、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
12	1月22日	講義・演習	課題曲#6、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
13	1月29日	講義・演習	課題曲#7、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
14	2月12日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
15	2月19日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
準備学習 時間外学習			個人練習・各アーティストやRock,Popsの成り立ちについて理解し、良いLiveを体感すること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Hard Rock Café Project(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	TSM在校生が、LIVEを”Business”として展開できるように実際にシチュエーションで体感し、学ぶ。 学生たちが宣伝・集客活動、ストーリー性のあるセットリスト、ライブパフォーマンスを学びながら、実践することが目的。						
到達目標	アンサンブル能力、演奏技術を深めつつ、集客マーケティングを行うことにより、プロミュージシャンとして必要な総合的な技術・知識を得る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	オリエンテーション、授業内容説明	課題曲の準備と授業時間外での練習
2	5月27日	講義・演習	課題曲1 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
3	6月3日	講義・演習	課題曲2 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
4	6月10日	講義・演習	課題曲3 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
5	6月17日	講義・演習	オーディション対策を通して、演奏技術・パフォーマンス技術を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
6	6月24日	講義・演習	オーディション対策を通して、演奏技術・パフォーマンス技術を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
7	7月1日	講義・演習	自由課題曲1 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
8	7月8日	講義・演習	自由課題曲2 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
9	7月15日	講義・演習	自由課題曲3 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
10	7月22日	講義・演習	自由課題曲4 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
11	7月29日	講義・演習	自由課題曲5 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
12	8月5日	講義・演習	自由課題曲6 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
13	8月19日	講義・演習	自由課題曲7 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
14	8月26日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	イベントでの演奏に向けた準備と課題曲練習
15	9月2日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	イベントでの演奏に向けた準備と課題曲練習
準備学習 時間外学習			個人練習と課題曲の練習とアーティストについての考察	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト、楽器、iPadもしくはパソコン				

科目名	Hard Rock Café Project(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	TSM在校生が、LIVEを”Business”として展開できるように実際にシチュエーションで体感し、学ぶ。 学生たちが宣伝・集客活動、ストーリー性のあるセットリスト、ライブパフォーマンスを学びながら、実践することが目的。						
到達目標	アンサンブル能力、演奏技術を深めつつ、集客マーケティングを行うことにより、プロミュージシャンとして必要な総合的な技術・知識を得る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	ライブパフォーマンス、ステージングについて学ぶ	課題曲の準備と授業時間外での練習
2	10月14日	講義・演習	ライブパフォーマンス、ステージングについて学ぶ	課題曲の準備と授業時間外での練習
3	10月21日	講義・演習	自由課題曲7 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
4	11月11日	講義・演習	自由課題曲8 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
5	11月18日	講義・演習	自由課題曲9 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
6	11月25日	講義・演習	自由課題曲10 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
7	12月2日	講義・演習	自由課題曲11 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
8	12月9日	講義・演習	自由課題曲12 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
9	12月16日	講義・演習	自由課題曲13 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
10	1月6日	講義・演習	自由課題曲14 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
11	1月13日	講義・演習	自由課題曲15 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
12	1月20日	講義・演習	自由課題曲16 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
13	1月27日	講義・演習	自由課題曲17 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
14	2月10日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	イベントでの演奏に向けた準備と課題曲練習
15	2月17日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	イベントでの演奏に向けた準備と課題曲練習
準備学習 時間外学習			個人練習と課題曲の練習とアーティストについての考察	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト、楽器、iPadもしくはパソコン				

科目名	著作権(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。 配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	5月30日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	6月6日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	6月13日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	6月20日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	6月27日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	7月4日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	7月11日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月18日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	8月1日	講義・演習	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	8月8日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	8月22日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月29日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月5日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月12日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月17日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3	11月3日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	11月14日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	11月21日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月28日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	12月7日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	12月12日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月19日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	1月9日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	1月16日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月23日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	1月30日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	2月13日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月20日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	音楽史(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学び理解説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	アメリカの地理・歴史について説明ができる。	アメリカの地理・歴史の復習レポートをまとめる。
2	5月25日	講義・演習	19世紀のアメリカとその音楽。	19世紀のアメリカの復習レポートをまとめる。
3	6月1日	講義・演習	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会について説明ができる。	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会の復習レポートをまとめる。
4	6月8日	講義・演習	ニューオーリンズ・ジャズについて説明ができる。	ニューオーリンズ・ジャズの復習レポートをまとめる。
5	6月15日	講義・演習	スイング・ジャズとビッグバンドについて説明ができる。。	スイング・ジャズとビッグバンドの復習レポートをまとめる。
6	6月22日	講義・演習	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックについて説明ができる。	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックの復習レポートをまとめる。
7	6月29日	講義・演習	ハードバップ、アフロキューバン、そしてウエストコースト・ジャズについて説明ができる。	ハードバップ、アフロキューバン、の復習レポートをまとめる。
8	7月6日	講義・演習	中間試験、及び中間課題の発表・提出。	1~7回の復習レポートをまとめる。
9	7月13日	講義・演習	モードジャズの始まりと発展について説明ができる。	モードジャズの復習レポートをまとめる。
10	7月20日	講義・演習	フリージャズと呼ばれる音楽とそのスタイルについて説明ができる。	フリージャズの復習レポートをまとめる。
11	7月27日	講義・演習	"ビ・バップ"の発展とミュージシャンの変化について説明ができる。	"ビ・バップ"の復習レポートをまとめる。
12	8月3日	講義・演習	ロック、ジャズそれぞれについて説明ができる。	ロックに影響されるジャズの復習レポートをまとめる。
13	8月17日	講義・演習	ジャズと世界の音楽の交流について説明ができる。	ジャズと世界の音楽の交流の復習レポートをまとめる。
14	8月24日	講義・演習	現代、現在のジャズについて説明ができる。	現代、現在のジャズの復習レポートをまとめる。
15	8月31日	講義・演習	期末試験及び、期末課題の発表・提出。	1~14回の復習レポートをまとめる。
準備学習 時間外学習		西洋音楽について各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】				
Music History				

科目名	音楽史(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	アメリカの現代史と音楽ジャンルの説明ができる。	アメリカの現代史と音楽ジャンルの復習レポートをまとめる。
2	10月12日	講義・演習	スコット・ジョップリン(1868-1917)の説明ができる。	スコット・ジョップリン(1868-1917)の復習レポートをまとめる。
3	10月19日	講義・演習	デューク・エリントン(1899-1974)の解説ができる。	デューク・エリントン(1899-1974)の復習レポートをまとめる。
4	11月9日	講義・演習	ルイ・アームストロング(1901-1971)“ジャズ”について説明できる。	ルイ・アームストロング(1901-1971)の復習レポートをまとめる。
5	11月16日	講義・演習	ロバート・ジョンソン(1911-1938)ロック、ブルースについて説明できる。	ロバート・ジョンソン(1911-1938)の復習レポートをまとめる。
6	11月23日	講義・演習	チャーリー・パーカー(1920-1955)インプロヴィゼーションについて解説できる。	チャーリー・パーカー(1920-1955)の復習レポートをまとめる。
7	11月30日	講義・演習	マイルス・デイヴィス(1926-1991)について解説できる。	マイルス・デイヴィス(1926-1991)の復習レポートをまとめる。
8	12月7日	講義・演習	その他のアフリカン・アメリカンアーティストについて説明ができる。	1~7回の復習レポートをまとめる。
9	12月14日	講義・演習	ジェームス・ブラウン(1933-2006)ソウル、ファンクについて解説できる。	ジェームス・ブラウン(1933-2006)の復習レポートをまとめる。
10	12月21日	講義・演習	クインシー・ジョーンズ(1933-)プロデューサーについて説明できる。	クインシー・ジョーンズ(1933-)の復習レポートをまとめる。
11	1月18日	講義・演習	ジミ・ヘンドリックス(1942-1970)について説明できる。	ジミ・ヘンドリックス(1942-1970)の復習レポートをまとめる。
12	1月25日	講義・演習	モータウン(1959-1994)ポップスについて解説できる。	モータウン(1959-1994)の研究復習レポートをまとめる。
13	2月1日	講義・演習	スティーヴィー・ワンダー(1950-)ソングライティングについて解説できる。	スティーヴィー・ワンダー(1950-)の研究
14	2月8日	講義・演習	マイケル・ジャクソン(1958-2009)モータウン、ポップスを解説できる。	マイケル・ジャクソン(1958-2009)の研究
15	2月15日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の発表・提出	1~14回の復習
準備学習 時間外学習			アフロミュージックについて各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	Theory of Harmony(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小林幸恵
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	和声の基礎を学ぶ。 ①楽曲の理解を更に深める為に学ぶ②DTMなど打ち込み、オリジナル曲の作曲、アレンジに必要なノウハウの基礎となる ③簡単な基礎から学び、多くの実験的集積により、発展への興味を期待したい ①～③ 要点の説明後、できるだけ多くの課題を実習する。						
到達目標	*テキストを完了する *ルートからメロディーを作る *メロディーから内声部、ルートを作る *全ての調に対応可能とする *合理化され無駄なく構成された理論体系により、能率的に全般の学習を完了する *和声技術の基礎を身につける事で、更に高度の専門技術の学習に困難なく進む事を可能とする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	主音と音度について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
2	5月28日	講義・演習	3和音、基本位置と転回位置	オリジナルテキストを使用した自習と復習
3	6月4日	講義・演習	声部、4声体について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
4	6月11日	講義・演習	1声部における2音の継続関係	オリジナルテキストを使用した自習と復習
5	6月18日	講義・演習	2声部における同時-継時関係	オリジナルテキストを使用した自習と復習
6	6月25日	講義・演習	連結について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
7	7月2日	講義・演習	基本位置3和音の上3声の標準連結	オリジナルテキストを使用した自習と復習
8	7月9日	講義・演習	II→V、V→VIの連結	オリジナルテキストを使用した自習と復習
9	7月16日	講義・演習	3種の和音機能について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
10	7月30日	講義・演習	カデンツの3種の型	オリジナルテキストを使用した自習と復習
11	8月6日	講義・演習	和音進行の可能性について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
12	8月20日	講義・演習	旋法と主音について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
13	8月27日	講義・演習	主音の移動について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
14	9月3日	講義・演習	各調の総括	オリジナルテキストを使用した自習と復習
15	9月10日	講義・演習	前期テスト・総復習	オリジナルテキストを使用した自習と復習
準備学習 時間外学習			オリジナルテキストを使用した自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	Theory of Harmony(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小林幸恵
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	和声の基礎を学ぶ。 ①楽曲の理解を更に深める為に学ぶ②DTMなど打ち込み、オリジナル曲の作曲、アレンジに必要なノウハウの基礎となる ③簡単な基礎から学び、多くの実験的集積により、発展への興味を期待したい ①～③ 要点の説明後、できるだけ多くの課題を実習する。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> * テキストを完了する * ルートからメロディーを作る * メロディーから内声部、ルートを作る * 全ての調に対応可能とする * 合理化され無駄なく構成された理論体系により、能率的に全般の学習を完了する * 和声技術の基礎を身につける事で、更に高度の専門技術の学習に困難なく進む事を可能とする 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	3和音の第1転回位置について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
2	10月15日	講義・演習	I・IV・Vの標準配置	オリジナルテキストを使用した自習と復習
3	11月5日	講義・演習	IIの配置・連結について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
4	11月12日	講義・演習	第2転回位置3和音の標準位置	オリジナルテキストを使用した自習と復習
5	11月19日	講義・演習	3和音の仕様における定型	オリジナルテキストを使用した自習と復習
6	11月26日	講義・演習	3和音を含む標準連結	オリジナルテキストを使用した自習と復習
7	12月3日	講義・演習	3和音を含むバス課題の実践	オリジナルテキストを使用した自習と復習
8	12月10日	講義・演習	7の和音について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
9	12月17日	講義・演習	V7の和音の配置	オリジナルテキストを使用した自習と復習
10	1月7日	講義・演習	9の和音について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
11	1月14日	講義・演習	V9の配置	オリジナルテキストを使用した自習と復習
12	1月21日	講義・演習	V9→Iの連結	オリジナルテキストを使用した自習と復習
13	1月28日	講義・演習	並進9度についての制限	オリジナルテキストを使用した自習と復習
14	2月11日	講義・演習	D和音の定型について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
15	2月18日	講義・演習	後期テスト・総復習	オリジナルテキストを使用した自習と復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	就職対策講座(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	飯泉さか江 上原和広
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー、現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	自分の仕事のタイプについて	
2	5月29日	講義・演習	キャリアをデザインしよう/スティーブジョブスの偶然をキャリアに	ワークシート
3	6月5日	講義・演習	学生生活キャリアイメージ	ワークシート
4	6月12日	講義・演習	自分らしさ/自信をみにつける	ワークシート
5	6月19日	講義・演習	コミュニケーションの難しさ	ワークシート
6	6月26日	講義・演習	コミュニケーション例/説明力	ワークシート
7	7月3日	講義・演習	面接など基本	VTR/ワークシート完成
8	7月10日	講義・演習	身だしなみについて知る	レポート
9	7月31日	講義・演習	働きがいとは/次回の課題	質問を考える
10	8月21日	講義・演習	インタビュー課題	ワークシート
11	8月28日	講義・演習	PDCAサークル/仕事の心身	ワークシート
12	9月4日	講義・演習	仕事の収入の成り立ち/収入について	レポート
13	9月11日	講義・演習	内定が出てから行うこと	レポート
14	9月18日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	9月25日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習		授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらなかったものを準備学習とします		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	就職対策講座(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	飯泉さか江 上原和広
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー、現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にし、行動を促す						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考えることで自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	自己分析 自らの得意、強みを知る	レポート
2	10月16日	講義・演習	自分の発信と相手側の受け取り方について	レポート
3	10月23日	講義・演習	グループワークの進め方	レポート
4	11月6日	講義・演習	臨機応変の対応力について	レポート
5	11月13日	講義・演習	社会人失敗例について知る	レポート
6	11月20日	講義・演習	10年後の自分について目標を持つ	レポート
7	11月27日	講義・演習	今行うべきことの理解と、学びについて	レポート
8	12月4日	講義・演習	対人関係について・自己表現方法について	レポート
9	12月11日	講義・演習	社会が求めるコミュニケーション能力を知る	レポート
10	12月18日	講義・演習	自分のキャリアデザインを書く	レポート
11	1月8日	講義・演習	自分のキャリアデザインを企画書にする	レポート
12	1月15日	講義・演習	自分のキャリアデザインをプレゼンテーションをする	レポート
13	1月22日	講義・演習	他者のキャリアデザインにアドバイスを行う	レポート
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらなかったものを準備学習とします。	
【使用教科書・教材・参考書】				